経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

調達価格等算定委員会（第23回）-議事要旨

日時：平成28年10月4日（火曜日）15時00分～16時10分
場所：経済産業省本館地下2階講堂

出席者

山内弘隆委員長代理、高村ゆかり委員、辰巳菊子委員、山地憲治委員

議題

1. 事務局説明
   （FIT法改正を踏まえた調達価格の算定について）
2. 討議

議事概要

（委員）

- 風力と太陽光については野心的な目標が示されていると思う。
- 風力に関して設備利用率は重要。何%を想定しているのか。
- 持続可能性等の観点から、輸入バイオマスの位置づけ、考え方を整理するべき。
- 提案にはおおむね賛成だが、中長期的なとは2030年頃に自立的な導入を図るべきということか。
- 中長期的な価格目標の位置づけを整理するべき。翌年度の価格等の決定において、どのように勘案するのか。
- 系統接続問題と将来の価格目標との関係性について教えて欲しい。
- コストの要素ごとに、FIT価格で誘導できる部分と別の政策導入が必要な部分を整理すべき。具体的に自立する水準はなにか。
- バイオマスについては、サステナビリティの基準を認定段階から踏まえ、同時に、買取期間終了後の継続性について考えた場合、熱利用を促進するべきではないか。
- 政策導入とスピードについてある程度のロードマップを示すべき。

（事務局）

- 風力の設備利用率は25%を想定している。また、風力については、ウインドファームの大規模化や、O&M産業の育成も含めてコストの低減を図っていく。
- 輸入バイオマスについては、バイオマスの価格検討時に改めてデータを提示する。
- 競争力の確保のためにも電力系統制約の克服は重要。必要な対策を行っていく。
- 政策導入やロードマップについても、可能な限り次回以降議論していく。
- 調達価格は引き続きコストベースを基礎に起算するが、その上で価格目標を勘案し、自立可能な価格の水準について検討していく。

関連リンク

調達価格等算定委員会の開催状況

お問合せ先

資源エネルギー庁 新エネルギー対策課
電話：03-3501-2342

FAX：03-3501-1365

最終更新日：2016年10月20日